

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	北陸財務局長
【提出日】	平成24年4月12日
【四半期会計期間】	第79期第3四半期（自平成23年12月1日至平成24年2月29日）
【会社名】	三光合成株式会社
【英訳名】	SANKO GOSEI LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 黒田 健宗
【本店の所在の場所】	富山県南砺市土生新1200番地
【電話番号】	(0763)52-7105
【事務連絡者氏名】	取締役上級執行役員 芹川 明
【最寄りの連絡場所】	富山県南砺市土生新1200番地
【電話番号】	(0763)52-7105
【事務連絡者氏名】	取締役上級執行役員 芹川 明
【縦覧に供する場所】	株式会社大阪証券取引所 (大阪市中央区北浜一丁目8番16号)

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第78期 第3四半期連結 累計期間	第79期 第3四半期連結 累計期間	第78期
会計期間	自平成22年6月1日 至平成23年2月28日	自平成23年6月1日 至平成24年2月29日	自平成22年6月1日 至平成23年5月31日
売上高(千円)	25,987,503	25,858,827	33,679,200
経常利益(千円)	1,145,025	1,123,750	1,220,186
四半期(当期)純利益(千円)	1,588,244	606,985	1,420,599
四半期包括利益又は包括利益(千円)	1,578,547	554,242	1,374,411
純資産額(千円)	7,107,451	7,344,505	6,903,315
総資産額(千円)	24,931,948	25,794,863	23,512,775
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	75.86	28.99	67.86
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	26.3	26.7	27.2

回次	第78期 第3四半期連結 会計期間	第79期 第3四半期連結 会計期間
会計期間	自平成22年12月1日 至平成23年2月28日	自平成23年12月1日 至平成24年2月29日
1株当たり四半期純利益金額(円)	3.53	16.94

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

4. 第78期第3四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。

#### 2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。  
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

#### （1）業績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、昨年3月に発生した東日本大震災や欧州諸国の財政危機による金融不安に加えて、円高の長期化や原油価格の高騰などにより、景気の先行きは不透明な状況が依然として続いております。

当社グループを取り巻く業界では、昨年10月にタイ国において発生した大洪水による顧客の生産調整やサプライチェーンの回復の遅れ等の影響もあり、低調に推移しました。タイ国の洪水においては、当社の連結子会社（SANKO GOSEI THAILAND LTD.）も浸水被害を受けましたが、代替生産等の対応にグループを挙げて取り組むとともに、4月下旬の本格稼働を目指して、復旧作業を行っております。

このような厳しい状況ではありましたが、当社グループは、内製化をはじめとする生産効率の向上を図るとともに、労務費や経費の圧縮に努め、原価低減活動を積極的に進めてまいりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は25,858百万円（前年同期比0.5%減）、営業利益は1,287百万円（前年同期比6.0%減）、経常利益は1,123百万円（前年同期比1.9%減）、四半期純利益は606百万円（前年同期比61.8%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### 日本

成形品部門では、OA機器用部品は受注先の海外への生産移管の影響もあり減収となりました。車両部品は、自動車メーカーの生産台数の回復もあり、内外装部品及び機能部品とも微増となりました。また、金型部門では車両向けの低迷もあり減収となりました。この結果、売上高は13,546百万円（前年同期比2.6%減）となり、セグメント利益は1,143百万円（前年同期比8.9%増）となりました。

#### 欧州

車両用内外装部品や薄型テレビ部品は、日本における震災やタイ国の洪水による影響と需要の低迷もあり減収となりましたが、車両向け金型の売上が大きく寄与し、売上高は2,361百万円（前年同期比12.3%増）となり、セグメント利益は20百万円（前年同期比55.1%減）となりました。

#### アジア

タイ及びインドネシアでは、車両用内外装部品及び機能部品が洪水による生産活動の停滞の影響を受け受注が減少し、売上高は9,951百万円（前年同期比0.2%減）となり、セグメント利益は453百万円（前年同期比19.4%減）となりました。

なお、部門別の売上の状況は、次のとおりであります。

部門別		当第3四半期連結累計期間 (自平成23年6月1日 至平成24年2月29日)	
		売上高(百万円)	前年同四半期比(%)
成形品	情報・通信機器	5,554	12.5
	車両	15,551	2.9
	家電その他	1,665	28.6
成形品計		22,771	7.8
金型		3,086	140.1
合計		25,858	0.5

#### (2) 財政状態の状況

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、25,794百万円(前連結会計年度末比2,282百万円増)となりました。流動資産は13,814百万円と前連結会計年度末比1,733百万円増加しておりますが、受取手形及び売掛金の増加1,035百万円並びにたな卸資産の増加390百万円によるものであります。固定資産は11,980百万円と前連結会計年度末比548百万円増加しておりますが、これは、有形固定資産の設備投資による増加563百万円が主な要因であります。

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、18,450百万円(前連結会計年度末比1,840百万円増)となりました。これは、支払手形及び買掛金の増加431百万円並びに設備投資等に伴う未払金等流動負債その他の増加1,108百万円によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、7,344百万円(前連結会計年度末比441百万円増)となりました。これは、利益剰余金の増加523百万円及び少数株主持分の減少59百万円によるものであります。

#### (3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

#### (4) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発費は240百万円であります。

なお、当第3四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	43,200,000
計	43,200,000

###### 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成24年2月29日)	提出日現在発行数(株) (平成24年4月12日)	上場金融商品取引所名又は 登録認可金融商品取引業協 会名	内容
普通株式	21,121,569	21,121,569	大阪証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 1,000株
計	21,121,569	21,121,569	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成23年12月1日～ 平成24年2月29日	-	21,121,569	-	1,890,800	-	1,742,393

##### (6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成23年11月30日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成24年2月29日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 189,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 20,752,000	20,752	-
単元未満株式	普通株式 180,569	-	-
発行済株式総数	21,121,569	-	-
総株主の議決権	-	20,752	-

【自己株式等】

平成24年2月29日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
三光合成(株)	富山県南砺市土生新1200番地	189,000	-	189,000	0.90
計	-	189,000	-	189,000	0.90

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成23年12月1日から平成24年2月29日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成23年6月1日から平成24年2月29日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
 (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年2月29日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,757,741	2,818,964
受取手形及び売掛金	6,472,669	7,508,083
商品及び製品	533,238	516,253
仕掛品	632,860	912,879
原材料及び貯蔵品	391,767	519,006
その他	1,292,729	1,539,204
流動資産合計	12,081,006	13,814,392
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,821,235	3,653,407
機械装置及び運搬具(純額)	2,496,957	2,419,602
土地	2,625,778	2,606,266
建設仮勘定	581,896	868,238
その他(純額)	755,412	1,296,947
有形固定資産合計	10,281,279	10,844,461
無形固定資産		
その他	106,763	140,198
無形固定資産合計	106,763	140,198
投資その他の資産		
投資有価証券	655,165	682,798
その他	388,560	313,011
投資その他の資産合計	1,043,726	995,810
固定資産合計	11,431,769	11,980,470
資産合計	23,512,775	25,794,863



(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年2月29日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,385,741	5,816,959
短期借入金	1,069,468	1,336,992
1年内返済予定の長期借入金	2,056,880	2,271,880
1年内償還予定の社債	100,000	100,000
未払法人税等	106,293	82,400
役員賞与引当金	18,772	-
その他	2,013,037	3,121,517
流動負債合計	10,750,193	12,729,750
固定負債		
社債	400,000	300,000
長期借入金	4,578,080	4,342,290
退職給付引当金	87,345	122,136
役員退職慰労引当金	96,012	88,262
負ののれん	3,315	2,071
その他	694,513	865,846
固定負債合計	5,859,266	5,720,606
負債合計	16,609,460	18,450,357
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,890,800	1,890,800
資本剰余金	1,742,393	1,742,393
利益剰余金	3,860,308	4,383,566
自己株式	38,711	38,872
株主資本合計	7,454,790	7,977,887
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2	772
為替換算調整勘定	1,069,876	1,093,361
その他の包括利益累計額合計	1,069,874	1,092,588
少数株主持分	518,399	459,207
純資産合計	6,903,315	7,344,505
負債純資産合計	23,512,775	25,794,863

## (2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年6月1日 至平成23年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年6月1日 至平成24年2月29日)
売上高	25,987,503	25,858,827
売上原価	21,547,494	21,516,600
売上総利益	4,440,009	4,342,226
販売費及び一般管理費	3,069,594	3,054,479
営業利益	1,370,415	1,287,747
営業外収益		
受取利息及び配当金	14,075	11,028
持分法による投資利益	35,066	10,978
スクラップ収入	19,993	19,136
その他	57,821	45,681
営業外収益合計	126,956	86,824
営業外費用		
支払利息	213,859	205,456
為替差損	96,039	19,307
その他	42,447	26,056
営業外費用合計	352,346	250,821
経常利益	1,145,025	1,123,750
特別利益		
固定資産売却益	76,240	441
スワップ差益	13,503	-
負ののれん発生益	-	24,580
特別利益合計	89,744	25,022
特別損失		
固定資産除却損	26,654	22,553
固定資産売却損	3,338	3,579
スワップ差損	-	5,982
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	5,539	-
投資有価証券評価損	21,716	-
関係会社清算損	28,497	-
過年度消費税等	-	15,215
災害による損失	-	147,204
その他	10,022	18,894
特別損失合計	95,768	213,429
税金等調整前四半期純利益	1,139,001	935,343
法人税等	509,075	342,552
少数株主損益調整前四半期純利益	1,648,076	592,790
少数株主利益又は少数株主損失( )	59,831	14,195
四半期純利益	1,588,244	606,985

【四半期連結包括利益計算書】  
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年6月1日 至平成23年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年6月1日 至平成24年2月29日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,648,076	592,790
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,253	770
為替換算調整勘定	47,777	27,378
持分法適用会社に対する持分相当額	27,005	11,940
その他の包括利益合計	69,529	38,548
四半期包括利益	1,578,547	554,242
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,543,028	584,271
少数株主に係る四半期包括利益	35,518	30,028

【会計方針の変更等】

該当事項はありません。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年6月1日 至平成24年2月29日)
1. 税金費用の計算	税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

【追加情報】

	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年6月1日 至平成24年2月29日)
(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)	
第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。	

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及び負ののれんの償却額は、次のとおりであります。

前第3四半期連結累計期間 (自平成22年6月1日 至平成23年2月28日)		当第3四半期連結累計期間 (自平成23年6月1日 至平成24年2月29日)	
減価償却費	1,145,367千円	減価償却費	889,672千円
負ののれんの償却額	1,243千円	負ののれんの償却額	1,243千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自平成22年6月1日至平成23年2月28日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成22年8月27日 定時株主総会	普通株式	83,742	4	平成22年5月31日	平成22年8月30日	利益剰余金
平成22年12月9日 取締役会	普通株式	41,867	2	平成22年11月30日	平成23年2月7日	利益剰余金

当第3四半期連結累計期間(自平成23年6月1日至平成24年2月29日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年8月26日 定時株主総会	普通株式	41,864	2	平成23年5月31日	平成23年8月29日	利益剰余金
平成23年12月8日 取締役会	普通株式	41,863	2	平成23年11月30日	平成24年2月3日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成22年6月1日至平成23年2月28日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	欧州	アジア	北米	計		
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	13,913,102	2,102,355	9,971,977	67	25,987,503	-	25,987,503
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,164,167	-	716,435	-	1,880,603	(1,880,603)	-
計	15,077,270	2,102,355	10,688,412	67	27,868,106	(1,880,603)	25,987,503
セグメント利益又は損失( )	1,050,541	46,490	562,326	13,775	1,645,582	(275,167)	1,370,415

(注)1. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去4,236千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用 279,404千円であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自平成23年6月1日至平成24年2月29日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	欧州	アジア	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	13,546,221	2,361,431	9,951,174	25,858,827	-	25,858,827
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	725,914	2,389	523,135	1,251,440	(1,251,440)	-
計	14,272,136	2,363,821	10,474,309	27,110,267	(1,251,440)	25,858,827
セグメント利益	1,143,944	20,897	453,360	1,618,202	(330,455)	1,287,747

(注)1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去35,102千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用 365,558千円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する情報

「北米」セグメントを構成しておりました「RICH MOUNT INC.」が前連結会計年度において清算されたため、第1四半期連結会計期間から、「北米」セグメントを報告セグメントとして記載する事業セグメントから除外しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年6月1日 至平成23年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年6月1日 至平成24年2月29日)
1株当たり四半期純利益金額	75円86銭	28円99銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	1,588,244	606,985
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	1,588,244	606,985
普通株式の期中平均株式数(株)	20,934,375	20,931,901

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

平成23年12月8日開催の取締役会において、当期中間配当に関して、次のとおり決議いたしました。

(イ) 配当金の総額.....41,863千円

(ロ) 1株当たりの金額.....2円00銭

(ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日.....平成24年2月3日

(注) 平成23年11月30日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払を行います。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。



## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年4月12日

三光合成株式会社  
取締役会 御中

### 有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	浜田 亘 印
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	近藤 久晴 印
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	中川 敏裕 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている三光合成株式会社の平成23年6月1日から平成24年5月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成23年12月1日から平成24年2月29日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成23年6月1日から平成24年2月29日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備又は運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、三光合成株式会社及び連結子会社の平成24年2月29日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

---

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれておりません。